

みんなの参加コーナー

赤ちゃん登場！

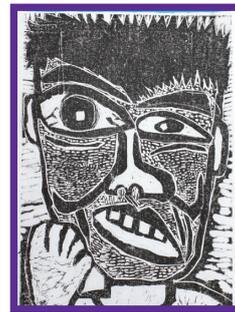


ギャラリー



「なわとび だいすき」

あおば保育園 5歳児
やまくちまゆか
山口舞結香ちゃん
まゆと友達と一緒に、なわとびをしたよ。なわとびをすると、すごく楽しい気持ちになるよ。前跳びも、後ろ跳びも、だんだんできるようになってきたよ。続けて50回、跳べるようになったいな。



「見て見て！
ぼくのわたしのあっぷっぷ！」

朝日小学校 4年
えぞえりようや
江副凌矢さん

迫力がある作品が作りたいと思って、表情を考えました。歯や目の中など細かいところまでていねいに彫りました。「ぼくは燃えてるぞ」という表情が気に入っています。

こんにちは！

第28回 宮古島100km
ワイドーマラソン大会 優勝

泉田町 大林 僚さん(33歳)

1月21日に沖縄県宮古島で開催され参加者577人、完走率57%となった100kmワイドーマラソン大会で、見事大会新記録で優勝した大林さん。「大会前から新記録を出す自信はあった。しかし世界選手権で優勝するようなライバルがいたため優勝の自信はなかった」と話します。しかしそのライバルを退け、結果は見事優勝。走っている最中は余分

な事は一切考えず、無心で走っていたそうです。

大林さんは中学校まで水泳や剣道をしており、高校から陸上競技を始めました。当時を振り返って、「ランニング用のシューズがあることに驚いたことを覚えている」と話します。そんな大林さんですがとても自分に厳しく、今は仕事をしながらも朝5時からのジョグトレーニングは毎日欠かさず行っているそう。そのような努力の積み重ねで、陸上を始めた時期が少し遅いにも関わらず、今回のようなすばらしい結果が残せたのでしょう。

そんな大林さんは普段、ウェーブスタジアム刈谷の管理をする西三河エリア



ワンで働いています。時にはマラソン教室のコーチを務めることも。受講生が大会で結果が出るとわざわざ報告しに来てくれるということから、指導者としてはもちろん、人柄の良さもうかがえます。

マラソンの楽しさという質問に「ゴールして結果が出ること」と話します。次の目標は世界選手権選考会となるサロマ湖ウルトラマラソンで4位以内に入ること。この結果を出すことを目指し、今日も大林さんはトレーニングに励みます。

